

## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 アールビバン株式会社  
 コード番号 7523 URL <http://www.artvivant.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野澤 克巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室マネージャー (氏名) 樋口 弘司  
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5783-7171

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,350	△9.3	389	△45.2	434	△37.2	249	—
23年3月期第3四半期	4,797	△4.0	710	△8.5	692	△5.5	△285	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 200百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △238百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	19.08	—
23年3月期第3四半期	△21.82	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	16,960	12,713	75.0
23年3月期	16,759	12,577	75.0

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 12,713百万円 23年3月期 12,577百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	△7.4	510	—	570	—	330	—	25.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	15,463,816 株	23年3月期	15,463,816 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,386,546 株	23年3月期	2,386,546 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	13,077,270 株	23年3月期3Q	13,092,298 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月に発生した東日本大震災により大きな打撃を受け、直接的被害のみならず、サプライチェーンの寸断、消費の自粛、電力不足や原発問題等により大きく落ち込むこととなりました。その後、消費マインドや生産活動は徐々に回復しつつあり、持ち直しの動きが見られるものの、欧州財政危機、海外景気回復の鈍化、円高の影響により、不透明感が高まり、依然厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは引き続き、「アート関連事業」に経営資源を集中させ売上増加に注力するとともに、販売費及び一般管理費の削減に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,350百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益389百万円（同45.2%減）、経常利益434百万円（同37.2%減）、四半期純利益249百万円（前年同期は285百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力するとともに、会場運営費・広告宣伝費を中心とした経費の削減や効率化に取り組んでまいりました。

しかしながら、美術品販売事業の売上が少なかったことや円高等の影響による商品評価損を計上したこと等により、売上高は2,606百万円（同8.6%減）、営業利益は230百万円（同14.2%減）となりました。

#### ◆金融サービス事業

当社グループの顧客及び一般加盟店に対する個別信用購入斡旋事業を中心に取り組んでまいりました。また、美術品担保融資事業による収益が減少したことや円高の影響による商品評価損等を計上したこと等により、売上高は550百万円（同25.5%減）、営業利益は210百万円（同61.2%減）となりました。

#### ◆リゾート事業

タラサ志摩ホテルの運営を引き続き「株式会社星野リゾート」の100%子会社に委託し、客室稼働率の上昇に注力してまいりました。この結果、売上高は817百万円（同10.3%増）、営業損失は70百万円（前年同期は78百万円の営業損失）となりました。

#### ◆健康産業事業

フィットネスクラブやヨガスタジオの新規会員獲得に主眼をおいた営業活動を推し進めてまいりました。しかしながら、「カルナ フィットネス&スパ 柏」における東日本大震災の影響、客単価の低下及び会員獲得数の伸び悩み等により、売上高は383百万円（同18.8%減）となりましたが、経費削減効果もあり営業損失は24百万円（前年同期は54百万円の営業損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は15,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ464百万円増加いたしました。これは主に、営業貸付金が1,734百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が476百万円、商品及び製品が999百万円増加したことによるものであります。固定資産は1,877百万円となり、前連結会計年度末に比べ263百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が116百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は16,960百万円となり、前連結会計年度末に比べ201百万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が266百万円減少したものの、割賦利益繰延が125百万円増加したことによるものであります。固定負債は508百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が12百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は12,713百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益249百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は75.0%（前連結会計年度末は75.0%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月10日に公表しました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表しております「繰延税金資産の取崩し及び特別損失の発生並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,849,912	2,895,860
受取手形及び売掛金	5,301,505	5,778,312
営業貸付金	3,415,320	1,681,138
商品及び製品	2,515,065	3,514,500
仕掛品	5,892	4,966
原材料及び貯蔵品	30,741	33,012
前払費用	149,433	121,801
繰延税金資産	676,430	806,776
その他	263,088	493,760
貸倒引当金	△588,100	△246,522
流動資産合計	14,619,291	15,083,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,456,909	1,433,501
減価償却累計額	△1,017,139	△1,034,822
建物及び構築物（純額）	439,769	398,678
土地	227,722	227,722
リース資産	3,990	3,990
減価償却累計額	△266	△864
リース資産（純額）	3,724	3,125
その他	356,425	363,447
減価償却累計額	△281,165	△286,102
その他（純額）	75,259	77,344
有形固定資産合計	746,475	706,871
無形固定資産		
のれん	2,182	—
その他	29,801	7,933
無形固定資産合計	31,983	7,933
投資その他の資産		
投資有価証券	460,014	343,369
敷金及び保証金	242,991	238,555
繰延税金資産	426,732	346,194
その他	316,682	315,386
貸倒引当金	△84,592	△81,192
投資その他の資産合計	1,361,829	1,162,312
固定資産合計	2,140,288	1,877,116
資産合計	16,759,580	16,960,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	225,172	239,592
短期借入金	690,000	424,000
未払法人税等	200,610	36,141
割賦利益繰延	1,278,779	1,404,038
賞与引当金	60,577	25,182
返品調整引当金	43,425	24,057
その他	1,177,292	1,586,186
流動負債合計	3,675,856	3,739,197
固定負債		
リース債務	3,910	3,281
退職給付引当金	28,808	31,234
役員退職慰労引当金	340,175	352,474
資産除去債務	125,364	118,692
その他	7,469	2,353
固定負債合計	505,728	508,035
負債合計	4,181,584	4,247,233
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,656,000	1,656,000
資本剰余金	6,706,301	6,706,301
利益剰余金	5,509,901	5,694,029
自己株式	△1,328,879	△1,328,879
株主資本合計	12,543,323	12,727,451
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,672	△13,962
その他の包括利益累計額合計	34,672	△13,962
純資産合計	12,577,996	12,713,489
負債純資産合計	16,759,580	16,960,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	4,797,739	4,350,647
売上原価	2,124,619	2,293,219
売上総利益	2,673,120	2,057,428
販売費及び一般管理費	1,962,427	1,667,629
営業利益	710,692	389,798
営業外収益		
受取利息	904	601
受取配当金	5,305	7,303
投資事業組合運用益	—	11,757
貸倒引当金戻入額	—	29,618
保険解約返戻金	12,655	—
その他	15,091	19,941
営業外収益合計	33,957	69,222
営業外費用		
支払利息	—	6,286
為替差損	39,548	16,426
投資事業組合運用損	10,723	—
その他	2,301	1,376
営業外費用合計	52,573	24,089
経常利益	692,077	434,931
特別利益		
賞与引当金戻入額	765	—
その他	299	—
特別利益合計	1,064	—
特別損失		
本社移転費用	22,171	—
固定資産除却損	1,876	—
投資有価証券評価損	26,445	28,726
減損損失	772,280	39,530
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	40,225	—
その他	11,810	—
特別損失合計	874,810	68,256
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△181,669	366,674
法人税、住民税及び事業税	212,973	148,156
法人税等調整額	△109,031	△30,996
法人税等合計	103,941	117,160
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△285,611	249,514
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△285,611	249,514

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△285,611	249,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,284	△48,634
その他の包括利益合計	47,284	△48,634
四半期包括利益	△238,326	200,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△238,326	200,879
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,852,882	732,047	740,602	472,207	4,797,739	—	4,797,739
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	173	7,030	—	—	7,204	△7,204	—
計	2,853,056	739,078	740,602	472,207	4,804,944	△7,204	4,797,739
セグメント利益 又は損失 (△)	268,223	542,425	△78,900	△54,504	677,244	33,448	710,692

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額33,448千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「健康産業事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は755,391千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	リゾート 事業	健康産業 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,606,338	543,722	817,176	383,409	4,350,647	—	4,350,647
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	90	6,858	—	—	6,948	△6,948	—
計	2,606,428	550,581	817,176	383,409	4,357,596	△6,948	4,350,647
セグメント利益 又は損失 (△)	230,047	210,418	△70,523	△24,354	345,588	44,210	389,798

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額44,210千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「リゾート事業」において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである資産グループについて、帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。当該事業による当第3四半期連結累計期間の減損損失の計上額は39,530千円であります。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。